

# 宇宙特急便

平成28年5月号

Space eXpress co.,Ltd.

(株)スペースエクスプレス

TEL:0463-21-5522

FAX:0463-21-5529

E-MAIL:info@spaceexpress.co.jp

## 「テレマ保険」

運送会社はトラックに通信端末(テレマティクス)装備が当たり前になってきた。走行距離・時間燃費・急加速急減速・音声やブザーによる安全指導はもとより長距離大型トラックなどは衝突軽減ブレーキや蛇行運転に警告等の機能を持つ。今や一般の自家用車にも浸透してきた。クラウド経由でデータの集積や分析をメーカーがしてくれるのだ。因みに建機のコマツはこれで成長のきっかけを掴んだ。保険会社はこのデータを保険料算定に活用しようとしている。これを「テレマティクス保険」という。いつもながら欧米から新しい潮流がやってくるが、これも例外ではない。欧米のテレマ保険は自動車保険の3割に達すると言われている。



代表取締役 河面 直

## 「みんなやってる？」エアバッグ開発に垣間見える日本人の価値判断

小堀保三郎氏は小学校卒業後丁稚奉公を経て、63歳の時にグッドアイデアセンターを設立。ある時旅客機内で乱気流に遭遇した際、荷物を抱える姿勢に安心感を得ると感じ「自動車に空気が膨らむものがあれば」との発想からエアバッグの開発を始めた。

私財と借入金を投じて試作品を開発、「エアバッグ」の特許を得た。しかし国内では誰も見向きもしなかった。役所でも「欧米でもこういうもの(エアバッグを)やって(開発して)いるのか」と門前払い。小堀さんは多額の負債を抱え失意のまま世を去る。5年後、特許が切れた1980年、なんとドイツのメルセデスベンツ社が実用化したのだ。日本人にも独自性はあるはずだがアピールの才能とそれを受け止める土壤が乏しい。

と、わかっちゃいるけど「〇〇がいよいよ欧米から上陸！」なんてフレーズについ振り向いてしまうのが現実だ。



## 2016 4・14 熊本よ、お前もか！

この惨禍。

明日は我が身と

臍(ほぞ)固め



## 今月のひとこと

不平不満愚痴泣き言悪口文句の【六戒】 恨み憎しみ呪いの【三禁】  
自ら発した言葉が人生を創る。ありがとうと流せよ。(小林正観)

